



# NACSIS-ILLシステム の運用

国立情報学研究所  
コンテンツ課学術情報サービス係

# 本日の内容

- CATとILLの関係
- NACSIS-ILLの良くある質問
- NACSIS-ILLの当面の課題





## CATとILLの関係

- CATの書誌・所蔵データを流用して依頼
- CATの情報が不正確だと謝絶率増加？
  - 例：研究室所在資料でILL対応不可
    - LOCで研究室なのか見分けがつかない
  - 例：雑誌未所蔵巻号に依頼がくる
    - 雑誌所蔵が更新されていない



# CATとILLの関係:ではどうする?

- まず, ILL担当とCAT担当で現状把握
- 課題発見 解決へ
  - 例: 研究室所在資料でILL対応不可
    - LOCで研究室なのか見分けがつかない
    - 解決案のひとつ: LOCを分けて登録
  - 例: 雑誌未所蔵巻号に依頼がくる
    - 雑誌所蔵が更新されていない
    - 解決案のひとつ: 雑誌所蔵を更新

NACSIS-ILLの良くある質問

# NACSIS-ILLを使用した業務

## ■ ILL業務

- NACSIS-CAT/ILL参加館同士
- NACSIS-CAT/ILL参加館 - 依頼 NDL
- NACSIS-CAT/ILL参加館 - 依頼 BLDSC
- NACSIS-CAT/ILL参加館 受付・依頼 OCLC
- その他

## ■ 支払業務

- ILL文献複写等料金相殺サービス

## 質問の特徴

- 繰り返し質問されるものが大半
  - 状態遷移図の理解不足
    - 状態遷移図: ILLシステム操作マニュアル第5版 p.191
  - 操作マニュアルを読んでいない
  - 入力ミスによるエラー
    - 例: 2バイト文字, CMMNTフィールドへの記述内容
  - 操作マニュアル, FAQの不備

## [ILL業務] NACSIS-CAT/ILL参加館同士

### ■ 支払区分や数量，金額等の修正をしたい

#### □ 理由

- 依頼館・受付館での誤入力

#### □ 対策

- レコードの状態を修正可能な状態まで戻す (参照: 操作マニュアル p.198)
- 「更新請求」「返送」以降のような参加館では戻せない状態の場合はNIIに連絡

#### □ 注意点

- ILL相殺「月次データ」に反映されたレコードは，修正不可




## 当面の課題(参加館同士)

### ■ 課題検討プロジェクト最終報告

[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat\\_info\\_kadaiPT.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat_info_kadaiPT.html)

- 謝絶率の上昇
- サービスステータスの切換
- 依頼Only館





## 当面の課題(参加館同士)

### ■ NACISIS-CAT/ILL利用報告(業務分析)

平成16年度:大学,大学共同利用機関向けに  
平成15年度の客観的データ

平成17年度:全機関向けに  
平成16年度の客観的データ

- 図書:書誌・所蔵登録数,重複書誌登録数
- 雑誌:所蔵更新遅延状況
- ILL:依頼・受付状況,謝絶状況,サービス設定状況

## [ILL業務] NDLとのILL

### ■ 依頼をキャンセルしたい

#### □ 確認点

- 状態は「未処理 (NDLにデータ未転送)」か「外部依頼中 (NDLにデータ転送済)」か？

#### □ 対策

- 状態が「未処理」
  - CALLBACK CANCELコマンド発行
- 状態が「外部依頼中」
  - 直接NDLに連絡
  - 処理状況によってはキャンセルできないこともある  
(参照: 操作マニュアル p. 114)

状態遷移図 (NDL): ILLシステム操作マニュアル第5版 p.192

## [ILL業務] NDLとのILL

- 依頼した資料が届いたが、状態が変わらない
  - 理由
    - NDLへの依頼の場合、資料が届いたら状態を「確認」(複写), 「借用中」(貸借)にする。
  - 対策
    - 複写: OKコマンドを実行し、状態を「確認」にする
    - 貸借: BORROWコマンドを実行し、状態を「借用中」にする

## [ILL業務] NDLとのILL

- 借りていた資料をNDLへ返却し状態を「返送」にしたが、状態が「返却確認」にならない
  - 理由
    - 「返却確認」への遷移は、NIIが毎月第2, 第4金曜日に行っているため、依頼館で変更はできない
  - 対策
    - 次の第2, 第4金曜日まで待つ。それ以降も状態が「返却確認」に遷移しない場合はNIIに連絡する



## 当面の課題(対NDL)

- 2007.04よりNDL-OPACからの依頼へ移行
  - 広報
  - マニュアルの整備
  - 残レコードの処理

## [ILL業務] BLDSCとのILL

- 依頼しても、状態が「新着照会」になって戻ってくる
  - 理由
    - BLDSCへの利用者登録申請が行われていない
    - BLDSCのカスタマーコード、パスワードが参加組織レコードに入力されていない
    - BLDSCに転送されるフィールドのデータに「漢字・ひらがな・カタカナ」「特殊な記号」が含まれている

状態遷移図 (BLDSC): ILLシステム操作マニュアル第5版 p.193

## [ILL業務] BLDSCとのILL

- 依頼しても、状態が「新着照会」になって戻ってくる
  - 対策
    - BLDSCへの利用者登録申請を行う(代理店は紀伊國屋書店, 丸善)
    - BLDSCのカスタマーコード, パスワードを参加組織レコード中のBLID, BLPWDフィールドに入力する
    - BLDSCに転送されるフィールドのデータから「漢字・ひらがな・カタカナ」「特殊な記号」を除く

## [ILL業務] BLDSCとのILL

### ■ 依頼をキャンセルしたい

#### □ 確認点

- 状態は「未処理 (BLDSC未転送)」か「外部依頼中 (BLDSC転送済)」か？

#### □ 対策

- 状態が「未処理」
  - CALLBACK CANCELコマンド発行
- 状態が「外部依頼中」:
  - CHASEコマンド発行 (CMMNTにメッセージ “CANCEL” を入力)
  - BLDSCからリプライ・コードが届いたらCANCELコマンド発行
    - 参照: 処理内容と入力すべきコード (操作マニュアル p.135)




## [ILL業務] BLDSCとのILL

- 依頼した資料が届いたが、状態が変わらない
  - 理由
    - BLDSCへの依頼の場合、資料が届いたら状態を「確認」(複写), 「借用中」(貸借)にする。
  - 対策
    - 複写: OKコマンドを実行し、状態を「確認」にする
    - 貸借: BORROWコマンドを実行し、状態を「借用中」にする

## [ILL業務] BLDSCとのILL

- 借りていた資料をBLDSCへ返却し状態を「返送」にしたが、状態が「返却確認」にならない
  - 理由
    - 「返却確認」への遷移は、NIIが毎月第2, 第4金曜日に行っているため、依頼館で変更はできない
  - 対策
    - 次の第2, 第4金曜日まで待つ。それ以降も状態が「返却確認」に遷移しない場合はNIIに連絡する



## 当面の課題(対BLDSC)

- そろそろ次のステップへ？
  - ISO-ILLプロトコルによる連携



# グローバルILL:展開

## ■ GIFプロジェクト

- <http://www.libra.titech.ac.jp/GIF/>

## ■ 日米ILL/DD

- 複写業務:平成14年4月～
- 貸借業務:平成15年8月～
- 参加状況:日本:129,米国:52
- 料金決済:日本代理店との個別決済

## ■ 日韓ILL/DD

- 複写業務:平成16年11月～
- 参加状況:日本:92,韓国:226
- 料金決済:ILL文献複写等料金相殺サービス(暫定)



# グローバルILL: 利用するには

## ■ 利用申請

- [http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/nill\\_info\\_globalil.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/nill_info_globalil.html)

## ■ ISO-ILL対応システム(日米ILL/DD)

- 新CAT/ILLシステム対応メーカー一覧  
[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/system\\_maker.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/system_maker.html)
- ISO-ILL対応WebUIP

## [ILL業務] OCLCとのILL

- 依頼しても、状態が「新着照会」になって戻ってくる
  - 確認点
    - OCLC のユーザーID, パスワードが参加組織レコードに入力されていない
    - TYPEの内容(「電子複写」「マイクロ」以外の2バイトデータはエラー)
    - SPVIAの内容(空白, 「速達」, 「書留」以外の2バイトデータはエラー)
    - STDNOの内容(ISSN, ISBNのみ有効)
    - BVRFYの内容(STDNOに記述しない場合は必須)
    - 2バイト文字は入っていないか(TYPE, SPVIAは除く)

## [ILL業務] OCLCとのILL

- 依頼しても、状態が「新着照会」になって戻ってくる
  - 対策
    - 参加組織レコード中のOCLCID, OCLCPWDフィールドにIDとパスワードを入力する
    - TYPEの内容を変更する
    - ISBN, ISSNが分かるならばSTDNOに以下の形式でISBN, ISSNを入力する
      - ISSN=xxxxxxxx または ISBN=xxxxxxxx
    - BVRFYの内容を変更する
    - 2バイト文字を1バイト文字の記述に変更する(特にOSTAF, OADRS)

## [ILL業務] OCLCとのILL

- いつの間にか受付レコードの状態が“CANCEL”になっていた
  - 理由
    - OCLCのILLシステムでは、4日間(土曜日、日曜日、米国の休日は除く)レコード状態の変化がない場合、レコードを次の候補館へ転送する
    - 4日間以上、状態が「未処理」のレコードはCANCELされる
  - 対策
    - 毎日依頼レコードをチェックする
    - 「未処理」のレコードがあったら内容を確認し速やかに発送、もしくは謝絶する





## 当面の課題 (グローバルILL)

### ■ 日米ILL/DD

- OCLC側の個別所蔵状況確認
- OCLC側のシステムの挙動
- 料金決済
- 謝絶率

### ■ 日韓ILL/DD

- ISO-ILL対応 (2007.04予定)
- KERIS側の個別所蔵状況確認
- 謝絶率



# ILL文献複写等料金相殺サービス:運用

## ■ 月次処理(月末)

### □ 対象レコードの固定

- 依頼館(OMLID)と受付館(AMLID)がサービス利用機関
- レコードの状態(STAT)が「確認」または「返却確認」
- 更新日(RNWDT)が当月内
- 合計金額(SUM)が1円以上

### □ 参加館へのダウンロードデータ提供

- [http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/nill\\_info\\_sousai\\_data\\_format.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/nill_info_sousai_data_format.html)

## ■ 相殺処理(四半期末:6,9,12,3月)

### □ 相殺結果通知書の送付(支払期限:翌月末)

### □ 参加館向けWWW確認ページの作成



# ILL文献複写等料金相殺サービス:現況1

- 平成16年4月～
- 参加機関:667機関(平成18年9月現在)
  - 国立大学等:113
  - 公立大学等:51
  - 私立大学等:395
  - 高等専門学校:55
  - その他:53

# ILL文献複写等料金相殺サービス:現況2

平成17年度(H17.4-H18.3)分の処理

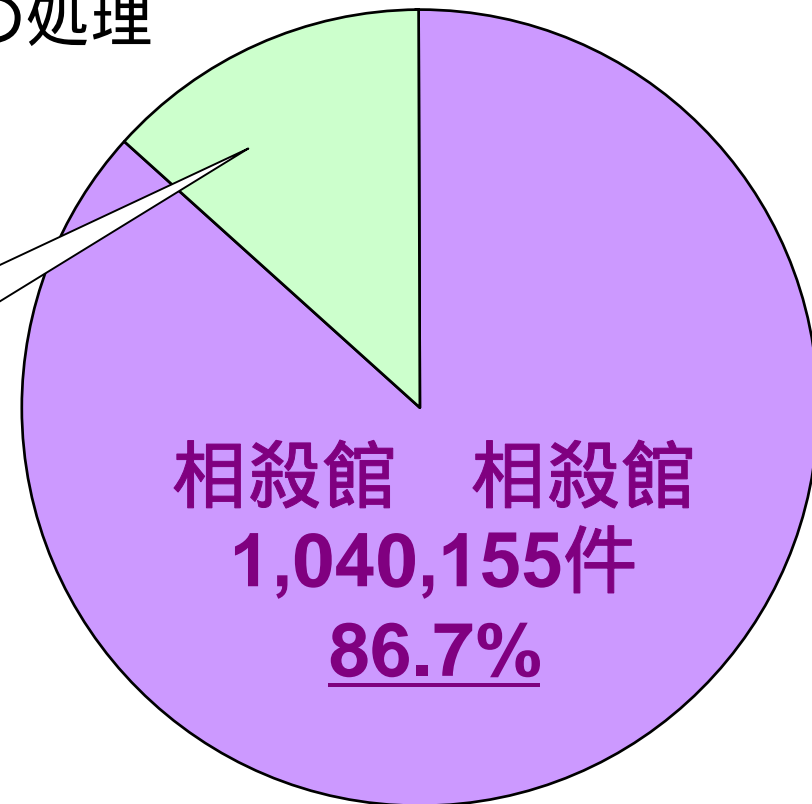
ILL成立件数:

1,200,391件

相殺処理対象件数:

1,040,155件

非相殺館 相殺館  
相殺館 非相殺館  
非相殺館 非相殺館  
13.3%



## [料金決済] ILL文献複写等料金相殺サービス

- ～～は相殺の対象となりますか？
  - 相殺対象となるレコードの条件
    - ADATE(受付日)が、依頼館・受付館両方のILL相殺利用開始日以降
    - 状態が「確認」(複写)または「返却確認」(現物貸借)
    - SUM(合計金額)が1円以上
  - 上記に該当するレコードは…
    - 状態が「確認」「返却確認」になった月の月次データに掲載され、その月の属する四半期に相殺処理が実施される

## [料金決済] ILL文献複写等料金相殺サービス

- 相殺の対象となるレコードであるはずなのに、月次データに掲載されていない

### □理由

- 状態が「確認」(複写), もしくは「返却確認」(貸借)になっていない
- ADATE(受付日)が, 受付館, 依頼館双方の相殺サービス参加日以前である
- 別の月の月次データに掲載されている(もしくは掲載予定) [RNWDT(更新日付)を確認]
- SUM(合計金額)が0円

## [料金決済] ILL文献複写等料金相殺サービス

- 月次データを確認したところ、レコード中の記述が間違っていた
  - 対策
    - 月次データが作成されるとレコードにロックがかかり、ILLレコードの修正ができない
    - 月次データの修正もできない
    - 合計金額が間違っていた場合は、ダミーレコードを用いて金額の損得が発生しないよう調整を行う



## 当面の課題 (ILL料金相殺)

- 日韓ILL/DD本サービス対応カスタマイズ



# ILL業務に関する質問

## ■ 質問先

- コンテンツ課学術情報サービス係

- Q&Aデータベース

- <http://cattools.nii.ac.jp/qanda/>

2. NACSIS-CAT/ILLへの質問の受付

